

# Cisco Jabber 管理タスク

最終更新：2024年8月27日

## Cisco Jabber 管理タスク

### Cisco Jabber 管理タスクの概要

このドキュメントには Cisco Jabber に関連する管理用タスクが含まれています。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- [通話 \(2 ページ\)](#) : 通話に関する情報。
- [チャット \(3 ページ\)](#) : チャットに関する情報です。
- [カスタマイゼーション \(4 ページ\)](#) : カスタマイズに関する情報です。
- [インテグレーション \(7 ページ\)](#) : 他の製品との Jabber インテグレーションに関する情報。
- [移行 \(13 ページ\)](#) : Jabber ユーザの Webex への移行に関する情報。

### モバイルアプリケーション管理ライセンス契約



(注) モバイルアプリケーション管理は現在、Webex Meetings オンラインの顧客に対応していません。

- モバイルアプリケーション管理 (MAM) ラッパー プログラムのフォーカスは、MAM 統合の目的で、アプリストアの外部の顧客が IPA および APK ファイルを使用できるようにすることです。このプログラムは無料で提供されます (通常の Jabber Webex ライセンス費用が適用されます)。
- Cisco は Jabber および Webex との MAM ラッパーまたは SDK インテグレーションのテストを行っていません。ラップされていない (最新リリースの) バージョンの Jabber および Webex のみをサポートしています。変更されたバージョンの Jabber および Webex で顧客が発見した問題は、Cisco サポートケースを提出する前に、ラップされていないバージョンで再現する必要があります。
- 他社が Cisco アプリケーションとのインテグレーションをテストしている場合でも、Cisco はそれらのインテグレーションをサポートできません。

- インテグレーションはアプリケーションをサンドボックス化する場合があります。つまり、他のアプリと一部のインタラクション（Webexクロス起動など）が正しく実行されない場合があります。
- Cisco は最新バージョンの Cisco Jabber、Webex アプリ、およびモバイルアプリ Webex Meetings のみをサポートしています。その結果、Cisco が App Store および Google Play Store で新しいバージョンをリリースすると、顧客がユーザーベースをアップグレードすることが期待されます。これらのバージョンは、MAMプログラムを通じても利用できません。
- 最初の MAM インテグレーションが成功した場合でも、OS の更新、新しいデバイス、新しい Jabber または Webex バージョン、新しいラッパー、SDK、または他のソフトウェアのバージョンを含むエコシステムへのその後の変更は、以降のインテグレーションを壊す可能性があります。そのため、Jabber の更新によって、顧客がターゲットにしている使用事例が中断されないようにするために、顧客が Early Adopter Program (EAP) に参加することを推奨します。

モバイルアプリケーション管理ライセンス契約は、Cisco と他の組織またはモバイルアプリケーションのラップをするライセンシーとの間で交わされる契約です。

詳細については、[サイト管理者または CSM に連絡してください](#)。

## 通話

このセクションには次の情報が含まれます:

- [コールの動作の設定 \(2 ページ\)](#)

## コールの動作の設定

Jabber をセットアップして、Webex アプリから発信することができます。

ユーザの通話ライセンスに応じて、通話動作のオプションをセットアップできます。

- Unified CM のライセンスを持つユーザは、Cisco Jabber から直接、または Webex アプリを通じて発信するようにセットアップし、ユーザに適用されるドメイン (組織ドメインまたは UC Manager プロファイル) を選択できます。設定は組織レベル、グループレベル、ユーザレベルで構成できます。
- Cisco の有料通話サービスを利用していないユーザは、通話を開始するためのサードパーティアプリケーションをセットアップできます。デフォルトでは、Webex アプリを通じたすべての通話で [Webex で発信] オプションが使用されます。この設定は組織レベルで行うことができます。
- Webex Calling のライセンスを持つユーザの場合、Webex アプリは発信用のデフォルトの通話アプリケーションです。そのため、特定の発信動作の設定は必要ありません。

詳細については、「[発信動作をセットアップする](#)」の記事を参照してください。

# チャット

このセクションには次の情報が含まれます:

- [常設チャットルームの参加者 \(3 ページ\)](#)


## 常設チャットルームの参加者


仲裁者または管理者は、ユーザを常設チャットルームに追加できます。Cisco Jabber にまだサインインしていないユーザを追加すると、そのユーザは初めてサインインした後に通知を受信します。

### Windows の常設チャットルームにユーザーを追加する

#### 手順

---

**ステップ 1** [ルーム (Rooms)]  に移動して、メンバーを追加するルームを選択します。

**ステップ 2** [ルームの編集 (Edit Room)]  をクリックしてルームの詳細を表示し、[メンバー (Members)] をクリックし、名前または電子メールアドレスの最初の文字を検索フィールドに入力し、リストからメンバーを選択してから [保存 (Save)] をクリックします。

**ステップ 3** 参加者を削除するには、名前を選択し、**x** をクリックします。


参加者を削除できるのは制限ルームのみです。


---

### Mac で常設チャットルームにユーザを追加する

#### 手順

---

**ステップ 1** [ルーム (Rooms)]  に移動して、メンバーを追加するルームを選択します。

**ステップ 2** [ルームの編集 (Edit Room)]  をクリックしてルームの詳細を表示し、[メンバーの招待 (Invite Members)] をクリックし、名前または電子メールアドレスの最初の文字を検索フィールドに入力し、リストからメンバーを選択してから [保存 (Save)] をクリックします。

**ステップ 3** 参加者を削除するには、名前を選択し、**x** をクリックします。

参加者を削除できるのは制限ルームのみです。

---

## モバイルの常設チャットルームにユーザを追加する

### 手順

---

**ステップ 1** [ルーム (Rooms)] に移動し、参加者を追加する会議室を選択し、[情報 (Information)] をタップして会議室の詳細を表示します。

**ステップ 2** [プラス (Plus)] をタップし、名前または電子メールアドレスの最初の文字を [追加 (Add)] フィールドに入力し、リストから選択し、[保存 (Save)] をタップします。

**ステップ 3** 参加者を削除するには、これらのオプションのいずれかを選択します:

- iPhone および iPad: 参加者の名前をスワイプして [削除] をタップします。
- Android: [編集] をタップして参加者名を選択し、[削除] をタップします。

参加者を削除できるのは制限ルームのみです。

---

## カスタマイゼーション

このセクションには次の情報が含まれます:

- [絵文字 \(4 ページ\)](#)

## 絵文字

### 組織の管理者のみ

XML ファイルで顔文字定義を作成して、それをファイルシステムに保存することによって、Windows 版 Cisco Jabber にカスタム顔文字を追加できます。最適な結果を得るには、カスタム顔文字は、次のガイドラインに準拠する必要があります。

- 寸法: 17 X 17 ピクセル
- 透明な背景
- PNG ファイル形式
- RGB カラー



(注) ユーザーは、カスタム顔文字定義が `emoticonDefs.xml` 内でローカルに定義されている場合のみ、それらの定義を利用することができます。顔文字の定義が異なるユーザにカスタム顔文字を送信すると、それらのユーザはアイコンではなく、デフォルトキーを受信します。次に例を示します。

- ユーザ A が `emoticonDefs.xml` 内でカスタム顔文字を定義します。カスタム顔文字の定義は、ユーザ A のローカル ファイル システムにのみ存在します。
- ユーザ A はそのカスタム顔文字をユーザ B に送信します。
- ユーザ B はカスタム顔文字のデフォルト キーのみを受信します。ユーザ B はアイコンを受信しません。

### 顔文字の定義

Windows 版 Cisco Jabber は `emoticonDefs.xml` から顔文字定義をロードします。次の XML の抜粋は、顔文字の定義ファイルの基本構造を示します。

```
<emoticons>
  <emoticon defaultKey=" image=" text=" order=" hidden=">
  <alt></alt>
</emoticon>
</emoticons>
```

次の表に、カスタム顔文字を定義するための要素および属性を示します。

表 1: カスタム絵文字を定義するための要素と属性

要素または属性	説明
絵文字	この要素には、すべての顔文字の定義が含まれます。
<b>emoticon</b>	この要素には、1つの顔文字の定義が含まれます。
<b>defaultKey</b>	この属性により、顔文字を描画するデフォルトキーの組み合わせが定義されます。 値として任意のキーの組み合わせを指定します。 値として任意のキーの組み合わせを指定します。 <code>defaultKey</code> は顔文字要素の属性です。

<b>image</b>	<p>この属性では、顔文字イメージのファイルを指定します。</p> <p>値として顔文字のファイル名を指定します。</p> <p>顔文字イメージは、emoticonDefs.xml と同じディレクトリに存在する必要があります。</p> <p>この属性は必須です。</p> <p>Windows 版 Cisco Jabber は、.jpeg、.png、および .gif を含む Internet Explorer でレンダリング可能なアイコンをサポートします。</p> <p>image は、顔文字要素の属性です。</p>
<b>text</b>	<p>この属性では、[顔文字の挿入 (Insert emoticon)] ダイアログボックスに表示される説明文を定義します。任意の Unicode 文字の文字列を指定します。この属性はオプションです。text は、絵文字要素の属性です。</p>
<b>order</b>	<p>この属性では、[顔文字の挿入 (Insert emoticon)] ダイアログボックスに顔文字が表示される順序を定義します。値として 1 から始まる番号を指定します。order は絵文字要素の属性です。この属性は必須です。ただし、非表示の値が true である場合、このパラメータは有効になりません。</p>
<b>hidden</b>	<p>この属性では、[顔文字の挿入 (Insert emoticon)] ダイアログボックスに顔文字が表示されるかどうかを指定します。</p> <p>値として次のいずれかを指定します。</p> <p><b>はい (true)</b> : ダイアログボックスに顔文字が表示されないことを指定します。ユーザは、顔文字を描画するキーの組み合わせを入力する必要があります。</p> <p><b>いいえ (false)</b> : ダイアログボックスに顔文字が表示されることを指定します。ユーザは、[顔文字の挿入 (Insert emoticon)] ダイアログボックスから顔文字を選択するか、顔文字を描画するキーの組み合わせを入力することができます。これがデフォルト値です。</p>
<b>alt</b>	<p>この要素を使用すると、キーの組み合わせを顔文字にマッピングできます。値として任意のキーの組み合わせを指定します。たとえば、defaultKey の値が :) である場合、alt の値として :-) を指定し、両方のキーの組み合わせで同じ顔文字を描画できるようにします。この要素はオプションです。</p>

## Windows 版 Jabber でカスタム顔文字を追加する

### 手順

**ステップ 1** 任意のテキスト エディタを使用して **emoticonDefs.xml** という名前のファイルを作成します。

**ステップ 2** 必要に応じて、**emoticonDefs.xml** で顔文字定義を指定します。

(注) emoticonDefs.xml の構造と利用可能なパラメータに関する詳細は、[顔文字の定義 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ3 **emoticonDefs.xml** を保存して閉じます。

ステップ4 **emoticonDefs.xml** をファイルシステムの適切なディレクトリに保存します。

(注) Cisco Jabber for Windows はファイルシステムの次のディレクトリから表情アイコンの定義を読み込みます:

• **Program Files\Cisco Systems\Cisco Jabber\Emoticons**

- このフォルダには、Windows 版 Cisco Jabber 用のデフォルトの顔文字とデフォルトの **emoticonDefs.xml** が含まれています。

• **Program Files\Cisco Systems\Cisco Jabber\CustomEmoticons**

- デフォルトでは、このフォルダは存在しません。管理者は、このフォルダを作成してカスタム顔文字の定義を格納し、組織展開に含めることができます。
- **CustomEmoticons** フォルダで定義した顔文字は、デフォルトの **Emoticons** フォルダの顔文字の定義よりも優先されます。

• **%USERPROFILE%\AppData\Roaming\Cisco\Unified Communications\Jabber\CSF\CustomEmoticons**

- このフォルダには、Windows 版 Cisco Jabber の個別のインスタンス用のカスタム顔文字定義が含まれています。
- このディレクトリで定義した顔文字は、インストールディレクトリの **CustomEmoticons** フォルダの顔文字の定義よりも優先されます。

ステップ5 Windows 版 Cisco Jabber を再起動します。

---

## インテグレーション

このセクションには次の情報が含まれます:

- [Microsoft Teams の政府/自治体インテグレーションのための Cisco Jabber の有効化](#) (7 ページ)
- [Cisco Webex および Jabber の相互運用性](#) (8 ページ)
- [Slack とアプリ内通話の専用インスタンスとのインテグレーション](#) (11 ページ)
- [Cisco Jabber for Microsoft Teams の設定](#) (12 ページ)

### Microsoft Teams の政府/自治体インテグレーションのための Cisco Jabber の有効化

管理者として、政府/自治体アプリの Cisco Jabber をインストールして、Microsoft Teams でシームレスコールを体験してください。

### 始める前に

Microsoft 365 用の政府/自治体インテグレーション向け Jabber アプリをインストールするには、**[Microsoft Teams で外部アプリを許可する]** と **[外部アプリのサイドローディングを許可する]** をオンにします。Cisco サポートに連絡してインストールパッケージをダウンロードしてください。

Microsoft Teams アカウントを持つユーザが Microsoft Teams の [Jabber] タブを使用する前に、Webex サイト管理者はユーザの Jabber アカウントを Microsoft 365 のアカウントにリンクする必要があります。両方のアカウントの電子メールアドレスが一致する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 管理者アカウントを使用して Microsoft Teams にサインインします。
  - ステップ 2 [アプリ (Apps)] をクリックして、[カスタムアプリのアップロード (Upload a custom app)] > [<tenant name> にアップロード] を選択します。
  - ステップ 3 ローカルコンピュータで Government.zip の Jabber を見つけて開きます。
  - ステップ 4 Jabber FedRAMP をクリックし、[追加] をクリックします。
  - ステップ 5 [許可を与える] をクリックし、必要に応じてパスワードを入力します。
  - ステップ 6 Jabber FedRAMP アプリで、ダイヤルパッドに \*CONSENT# と入力して [確定] をクリックします。
  - ステップ 7 管理者アカウントを選択します。
  - ステップ 8 [承諾] をクリックして、Jabber FedRAMP にリクエストされたアクセス許可を付与します。
- 

## Cisco Webex および Jabber の相互運用性

ユーザが Cisco Webex と Cisco Jabber を使用している場合、相互運用性設定を使用して、両方のアプリケーションユーザが相互に通信できるようにすることができます。



- (注) この記事では、クラウドベースの Jabber 展開と Webex 間の相互運用性について説明します。これは、オンプレミス Jabber 展開と Webex ユーザー間の相互運用性とは異なります (展開の詳細については、<https://www.cisco.com/go/hybrid-services-message> を参照)。

**Cisco Webex / Jabber Interop** 設定が有効になっている場合：

- Webex と Jabber アプリの間でメッセージを送受信できます。
- 連絡先が Webex を使用している場合、Jabber ユーザーには、[Cisco Webex を使用中 (On Cisco Webex)] のステータスが表示されます。



## 導入要件

Cisco Jabber クラウド展開でのみサポートされます。

この設定を有効にする前に、次のことを確認してください。

- 組織を Cisco プラットフォーム アイデンティティ サービスに追加する必要があります。Cisco Webex Control Hub で、組織が追加されているかどうかを確認できます。組織が追加されていない場合は、シスコカスタマーサポート チームまたはシスコ カスタマーサクセス マネージャに連絡して、組織をシスコプラットフォーム アイデンティティ サービスに追加するように依頼してください。アイデンティティサービスにユーザーを追加するプロセスは、完了するまでに時間がかかります。

シスコカスタマーサポート チームまたはシスコ カスタマーサクセス マネージャの依頼プロセスの詳細については、こちらの[サポート記事](#)を参照してください。

Webex Messenger 組織をシスコプラットフォーム アイデンティティ サービスに同期するには、Cisco Jabber (Webex Messenger) と Webex ドメインが同一である必要があります。

Cisco Directory Connector は、Control Hub で無効にする必要があります。これは、このユーザー管理方法は、Jabber クラウド展開でのユーザー管理方法と互換性がないためです。

- Webex Messenger にシングルサインオン (SSO) を使用する場合は、シスコプラットフォーム アイデンティティ サービスの SSO を設定する必要があります。SSO の構成詳細については、「[Cisco Webex Messenger のインストールとアップグレードに関するドキュメント](#)」を参照してください。

## 既知の制限事項

- ユーザーは Jabber と Webex 間でのみテキストを送信でき、他のコンテンツの送信はサポートされていません。
- スペースでメッセージを送信できるのは1人のユーザーに対してのみで、グループスペースでメッセージを送信することはできません。
- エンドツーエンドの AES 暗号化はサポートされていません。
- すべてのユーザーは、**[Cisco Webex/Jabber の相互運用 (Cisco Webex / Jabber Interop)]** 設定を有効にする必要があります。

相互運用が有効になっていない Jabber ユーザーが、Jabber にサインインしていない相互運用が有効なユーザーにメッセージを送信しようとする、[このユーザーは Jabber で現在オフラインであり、メッセージを配信できません (This user is currently offline in Jabber and the message cannot be delivered)] というメッセージが表示されます。

## Jabber 要件

Cisco Jabber クライアント 11.9 以降。

jabber-config.xml file で jabber-config.xml

file<Persistent\_Chat\_Enabled>False</Persistent\_Chat\_Enabled> パラメータが [False] に設定されていることを確認します。

AES 暗号化は、Cisco Webex Messenger 管理ツール（組織管理者）で無効にする必要があります。[ポリシーエディタ（Policy Editor）] タブで、**[IM のエンドツーエンド暗号化をサポート（Support End-To-End Encryption for IM）]** 設定を無効にします。

### Cisco Webex Control Hub 設定

Control Hub の **[Cisco Webex/Jabber の相互運用（Cisco Webex / Jabber Interop）]** 設定は、組織全体に対して有効にしてから、特定のユーザーに対して有効にすることができます。この設定は、CSV ファイルのユーザー設定で選択するサービスの 1 つとしても使用できます。

## 御社組織向けの Cisco Webex と Jabber 間でのメッセージングの設定

Cisco Webex および Cisco Jabber にユーザがいる場合は、この設定を使用して、両方のアプリのユーザが相互に通信できるようにすることができます。

### 手順

**ステップ 1** <https://admin.webex.com> のカスタマービューから、**[サービス（Services）]** に移動し、**[メッセージ（Message）]** > **[Webex Messenger]** をクリックします。

このオプションが見えない場合は、Cisco Customer Support チームまたは Cisco Customer Success Manager に連絡し、御社を Cisco Platform identity service に追加するよう依頼してください。ユーザをアイデンティティサービスに追加するプロセスには、完了まで時間がかかります。

**ステップ 2** **[オプション（Options）]** までスクロールし、**[Cisco Webex/Jabber 相互運用]** をクリックし、次に **[保存（Save）]** をクリックします。

## ユーザの Cisco Webex と Jabber 間のメッセージングのセットアップ

Webex および Jabber にもユーザがいる場合は、この設定を使用して、Webex および Jabber 両方のアプリのユーザが相互に通信できるようにすることができます。

### 始める前に

組織向けの Webex と Jabber 間のメッセージを設定してから、ユーザ向けのこの設定を行う必要があります。

### 手順

**ステップ 1** <https://admin.webex.com> のカスタマービューから **[ユーザ]** に移動します。

**ステップ 2** 相手をクリックしてから、**[無料メッセージ]** または **[有料メッセージ]** をクリックします。

ステップ 3 [ Cisco Webex / Jabber Interop ] をクリックし、[ 保存 ] をクリックします。

## 多くのユーザ向けに Cisco Webex と Jabber の間でメッセージングをセットアップする

### 手順

- ステップ 1 <https://admin.webex.com> のカスタマービューから [ユーザ] に移動して [ユーザの管理] をクリックします。
- ステップ 2 [CSV テンプレートでのユーザのエクスポートとインポート] を選択して [次へ] をクリックし、[エクスポート] をクリックします。
- ステップ 3 ダウンロードされた CSV ファイルを編集し、[Cisco Webex/Jabber 相互運用 (Cisco Webex/Jabber Interop)] 列を [はい (TRUE)] に更新してファイルを保存します。
- ステップ 4 [インポート (Import)] をクリックしてファイルを選択し、[開く (Open)] をクリックします。
- ステップ 5 [サービスの追加のみ] または [サービスの追加と削除] を選択して、[送信] をクリックします。

## Slack とアプリ内通話の専用インスタンスとのインテグレーション

Slack メッセージングを Cisco Calling と統合し、専用インスタンス サービスを使用して、アプリケーション内から音声およびビデオ コールを発信できます。

専用インスタンスの顧客は Slack を使用して、Slack メッセージングを Cisco Calling と統合できます。Slack 用の Cisco Jabber 通話アプリケーションまたは Cisco Webex 通話アプリケーションは、Slack ユーザーが専用インスタンスのサービスを使用してアプリケーション内から音声およびビデオコールを発信できるようにする Slack 内のプラグインアプリケーションです。

Slack ユーザーは、個人用デバイスの Slack 内で Cisco Calling アプリケーションをインストールします。Webex アプリケーションまたは Jabber アプリケーションは、すべての専用インスタンス要件に従って、事前にインストールされ、専用インスタンスに登録されている必要があります。両方のインストールが完了すると、Slack は専用インスタンスの通話コントロールを使用して通話を発信できます。Slack サポートは、専用インスタンス内でエンドユーザーに以下の機能を提供します。

- Unified CM 経由で Slack クライアントから直接発信する
- Slack アプリケーションの通話アイコンを使ってチャット ウィンドウから発信する
- Slack アプリケーションのスラッシュコマンドを使って発信する

### Slack 通話の設定

専用インスタンスの Slack クライアントから直接通話機能を使用するには、次の手順に従って Slack 通話を設定します。Slack に必要な特定の構成設定については、「[Cisco Webex Calling for Slack](#)」を参照してください。

ユーザーデバイスから Slack を使用して通話する方法については、Webex ヘルプセンターの「[Cisco Webex Calling for Slack](#)」を参照してください。



**警告** エンドユーザーは Cisco Webex アプリケーションにログインする必要があります。

クライアント側の統合により、パートナーはインフラストラクチャや構成を変更することなく、専用インスタンスの Slack をサポートできます。

## 手順

- 
- ステップ 1** Webex アプリケーションまたは Jabber をインストールし、専用インスタンスに登録します。  
(パートナー様)
- (注) 「[アプリケーション内通話の専用インスタンスと Webex アプリケーションの統合](#)」の手順に従って、Unified CM を介した通話を専用インスタンスソリューションと統合します。
- ステップ 2** [管理者](#) 向けの手順に従って、専用インスタンスを使用して Webex Calling を有効にします。  
(Slack 管理者)
- ステップ 3** [ユーザー](#) が専用インスタンスを使用して Webex Calling をインストールして使用するには、次の手順に従います (Slack ユーザー)。
- 

## Cisco Jabber for Microsoft Teams の設定

管理者として、Jabber アプリをインストールして、組織の Microsoft Teams でシームレスコールを体験してください。

### 始める前に

- ユーザーは Cisco Jabber にログインできる必要があります。また、ユーザーは、コールを行うために、ユニファイドコミュニケーションマネージャーに登録されている必要があります。
- Microsoft Teams の管理者権限を持っていることを確認します。
- Azure Active Directory でユーザーの電話番号が更新されていることを確認してください。

## 手順

- 
- ステップ 1** [Microsoft Teams 管理センターに移動](#) します。
- ステップ 2** 左側のメニューから、[Teams アプリ (Teams Apps)] > [アプリ管理 (Manage Apps)] をクリックします。

- ステップ 3** 検索ボックスで、jabber を検索し、検索結果で、アプリ名をクリックします。
- ステップ 4** アプリのステータスを [許可] に切り替えます。
- ステップ 5** 左側のメニューから、[Teams アプリ (Teams apps)] > [権限ポリシー (Permission policies)] に移動します。
- ステップ 6** 組織のポリシーを選択し、サードパーティアプリ が [すべてのアプリを許可 (Allow all apps)] するように設定されていることを確認します。
- ステップ 7** 左側のメニューから、[Teams アプリ (Teams apps)] > [ポリシーの設定 (Setup policies)] に移動します。
- ステップ 8** ポリシーの組織を選択します。
- ステップ 9** [追加 (Add)] > [アプリの追加 (Add Apps)] をクリックして Jabber を検索し、[追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 10** 画面下の [追加 (Add)] をクリックして確認します。
- ステップ 11** [保存 (Save)] をクリックします。

Microsoft Teams の変更が反映されるまでに最大 24 時間かかる場合があります。

## 移行

Cisco Webex への移行は、ヘルプセンターのこれらの記事で説明されています。

- [Jabber の Webex アプリへの移行を計画する](#)
- [クラウド接続型 UC の Jabber ユーザを Webex アプリに移行する](#)
- [Jabber 連絡先と共通設定を Webex アプリに移動するためのユーザの設定](#)
- [Jabber with IM and Presence を Webex アプリにアップグレードする](#)
- [Jabber with Messenger を Webex アプリにアップグレードする](#)



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。